

巨大地震にも耐えられる岸壁を珍しい手法で整備中!!

1. 概要

三河港神野地区において、完成自動車輸出台数の増加、船舶の大型化への対応、震災時における緊急物資輸送機能の確保を目的として、三河港神野地区7号岸壁(水深12m)の延伸、耐震強化岸壁としての整備を行っています。

この岸壁の施工にあたっては「固化改良式」という手法を採用しています。この手法は、地盤改良工法のひとつで地盤を固化改良し、固めることにより、強度の増加を図るものですが、この手法を岸壁整備に用いている例は全国的にもほとんどなく、珍しい手法となっています。

本工事は中部地方整備局「旬な現場」に登録されています。

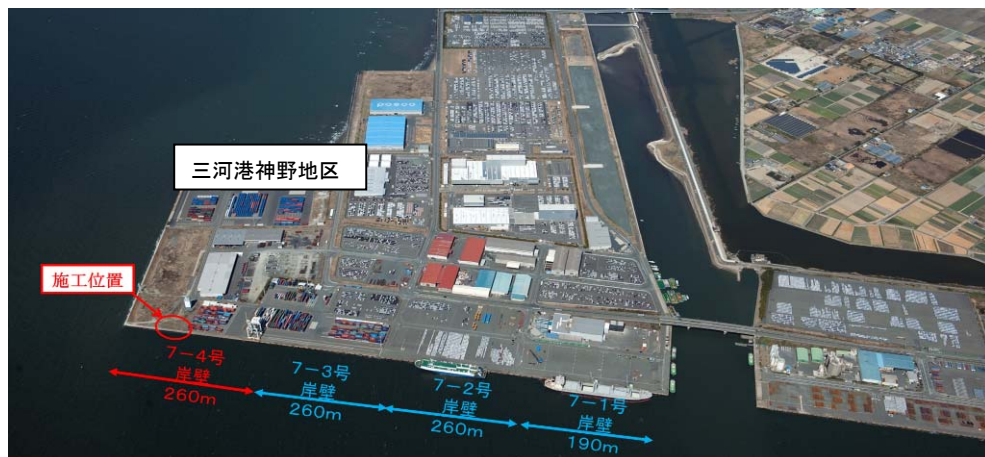
HPアドレス：http://www.cbr.mlit.go.jp/local_info/sougou/contents/shisetsu/construction/index.htm

2. 工事期間

平成26年9月11日～平成27年3月27日

3. 施工箇所

愛知県豊橋市神野西町地先

4. 施工方法及び現場の様子について
別紙

5. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、豊橋市政記者会、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

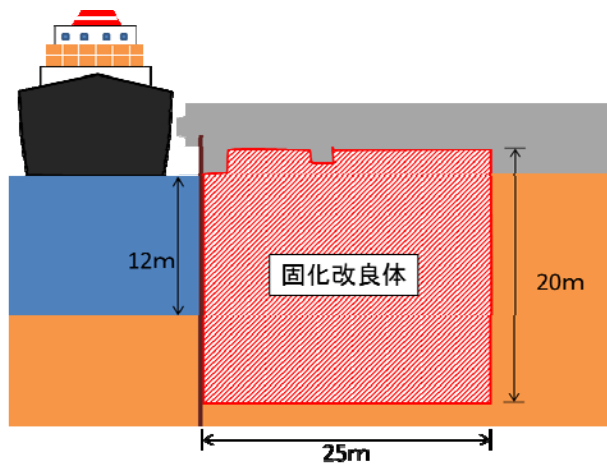
6. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所 企画調整課 田村(たむら)

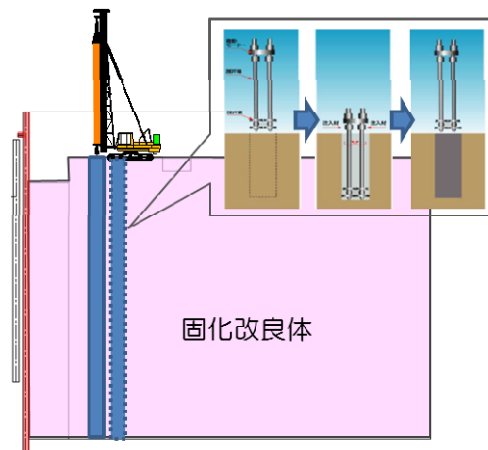
Tel 0532-32-3252 Fax 0532-32-5049

施工方法について

今回の工事では、巨大地震に耐えられるだけの強度を確保することが目的の一つとなっています。そこで、もとと土であった部分に改良材(セメント)を注入し、土と混ぜ合わせて強固な改良体とすることで、岸壁全体の強度増加を図ります。

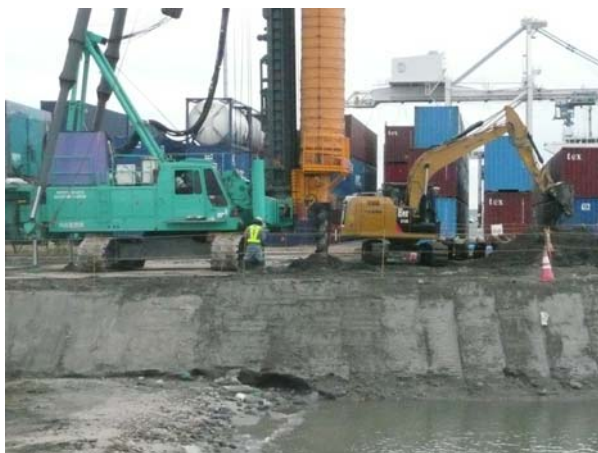


【岸壁の断面図】



【施工イメージ】

現場の様子



地盤改良の様子



地盤改良後